



オートスライドマニュアル

Autoslide instruction ver.5

～準備編～

オートスライドとは

オートスライドは手動の引き戸を、あとづけで自動化する製品です。

吊式、戸車式にかかわらず、重量45kg以内、1500mmまでの引き戸(2000mmまでは要相談)に対応します。引き戸にレールを、ドア上部に(鴨居)にオートスライド本体を設置し、電気力でドアを自動開閉させます。家庭用AC100Vコンセントを利用するため電気工事は不要です。

日本版オートスライドでは用途にあわせた専用センサーが準備されており、無線か、有線でもケーブル一本での接続となっており、従来の自動ドアと異なり、施工を極力簡素化しているのが特徴です。

また、通常の自動ドアとは違う点として、以下のポイントがございます。

- 1) 手動アシストモードの搭載。(手動でドアを10cmほど開くと、残りはモータの力で開きます)
- 2) 自動開閉中、停止が可能
- 3) 主電源を落とさずとも、ドアを開放保持可能(頻繁に通る際など)

オートスライド・ロック(鍵付きタイプ)でも基本構造、施工方法は同じです。

オートスライドの施工手順

1. ドアの状態を確認し、設置タイプを決定する
2. 本体をドア上部に設置する。
3. レールを本体のギアとキツメにかみあうようにとりつける
4. 本体の電源をいれれば、自動で設定完了。
5. 各種センサーの設定。

※2と3はどちらが先でもかまいません。ドアに応じて取り付けやすい順序で設置してください。

オートスライドが対応不可能な引き戸

1. 規定の重さ、長さを越える引き戸
2. ガラス入りアルミサッシで、ドア上部の枠が50mmない。(レールが設置できません)
3. 手動時に指一本で、スムーズに動き出さない。途中でひっかかる引き戸(ドアの修理が必要です)
4. ソフトクローズ、半自動機工、傾斜レール付き引き戸。(各機工が動きを妨げるため、停止必要)
5. 雨や水がかかる場所での設置。風呂場など多湿環境。(防水機能がございません)
6. マイナス環境下になる屋外での設置。氷結のおそれがある場所。
7. お客様で自作されたドアで挙動が安定しないもの

オートスライド(オートスライド・ロック)の施工準備

1. 本体セット内容を確認する

1. オートスライド本体
2. レール 500mm×2
3. L字型ラック
4. ドア重量テスター※1
5. 付属ビスセット※2
6. タッチスイッチ2個
7. 取説DVD
8. AC100V対応アダプター



※1. ドアテスターは取手のあるドアのみで使用可能です。

※2. 付属ビスは汎用品のため、ドアにあわせ木ネジ、テクスなど、適切なビスをご用意ください。

2. 必要工具の準備

1. 電動インパクトドライバー
2. 金鋸(レール切断時)
3. 各種ドライバー

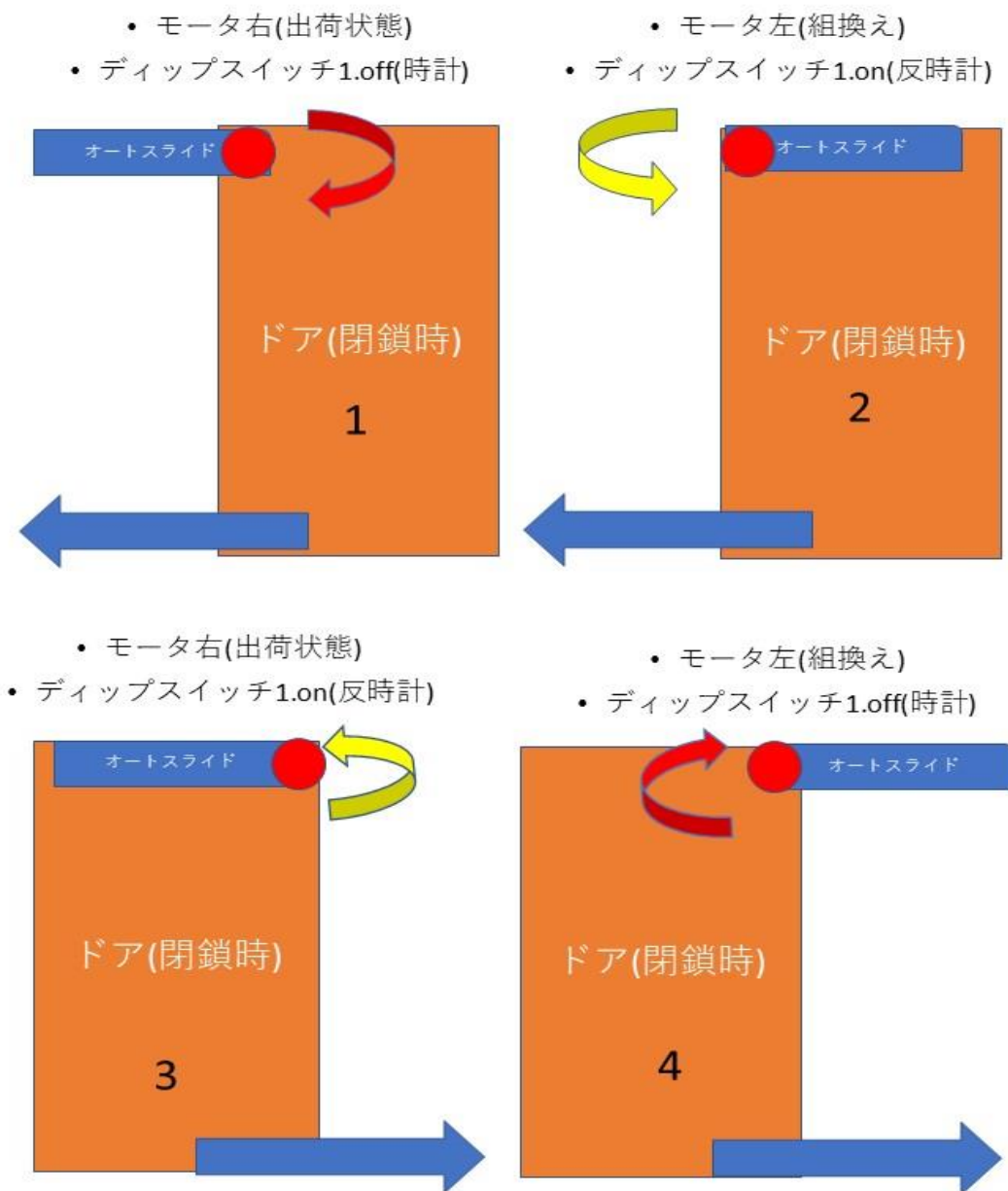
3. 本体のカバーをはずす

オートスライド本体の**右サイドカバー(プラスチック製、電源挿入部のないほう)**のネジを外し、つづいて、フロントカバーをはずします。**左側の電源部のカバーを外す必要はありません。**

オートスライド(オートスライド・ロック)の設置タイプを選ぶ

日本版オートスライドではドア形状、引き方向にあわて、4種類の設置タイプを用意しております。タイプはモータとギアの位置(右か左か)とコントロールパネル下部のディップスイッチ1(onとoff)の組み合わせで決まります。出荷時はモータ右、ディップスイッチoffのタイプ1です。

オートスライドの組換えとディップスイッチ



中央が出ているドアの場合は2か3で設置をご推奨します

ディップスイッチ1がoffで「ドアを引く」 onで「ドアを押す」の動きとなります。



アルミサッシなど中央が高くなっている引き戸(方立がある引き戸)では、方立のうしろにオートスライドを設置する2か3のタイプとなります。

中央から左右二枚引き分けの場合： 1+4か2+3を組み合わせ、二台のオートスライドを使用します。

オートスライドの組み替え

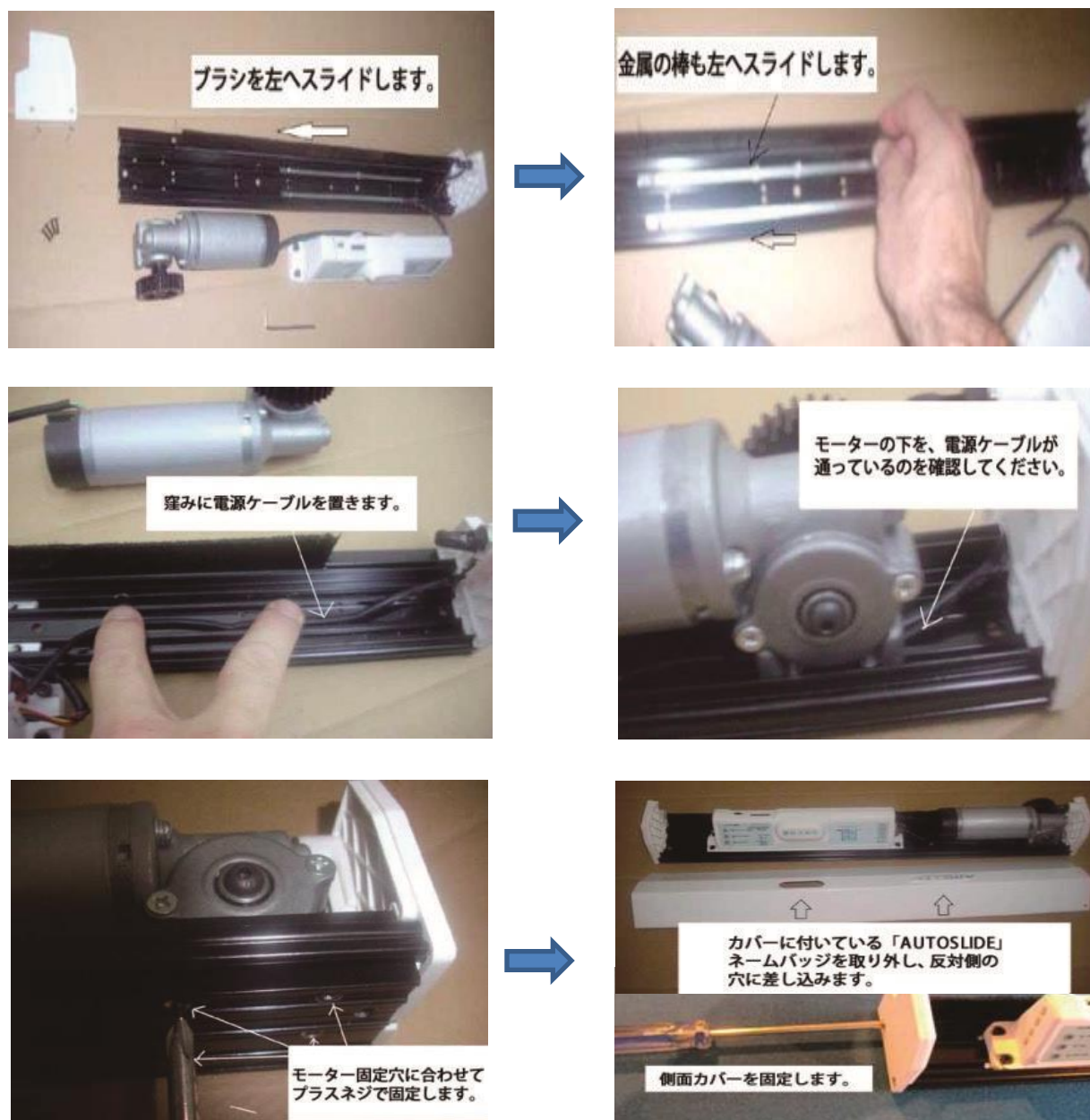
タイプ3とタイプ4はモーターとコントロールパネル、ギアの組み換えが必要です。下記の手順に従い、組み換えをおこなってください。断線、落下にご注意ください。

1.モーターとコントロールパネルを外す (配線の断線にご注意ください)



3のとき、ギアを再度、逆側から挿入し、付属ネジを六角レンチできつく締めなおしてください。

2. モーターとコントロールパネルを再びベースに取り付ける



注意事項:

1. 組み換え時、必ずモーター部分をお持ちください。コード部分を持つと断線の原因となります。
2. モーター取り付けには、ネジゆるみ防止剤(ロックタイト等)の使用を推奨いたします。
3. 組み換え後、ギアを再度締めなおすときに、しっかりと最後まで締めてください。ゆるいと、のちのちギアが外れたり、ドアが異常な動きをする原因となります。

組み換え作業中のお客様起因による落下、断線による故障は、弊社無償サービスの適用外となります。ご注意ください。作業が不安な方には有償組み換えサービスも行っております。お問合せください。

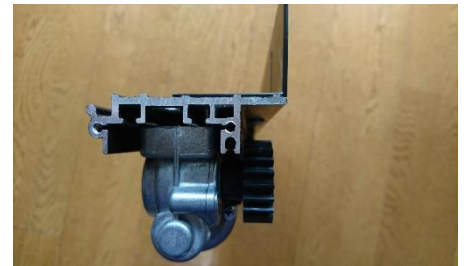
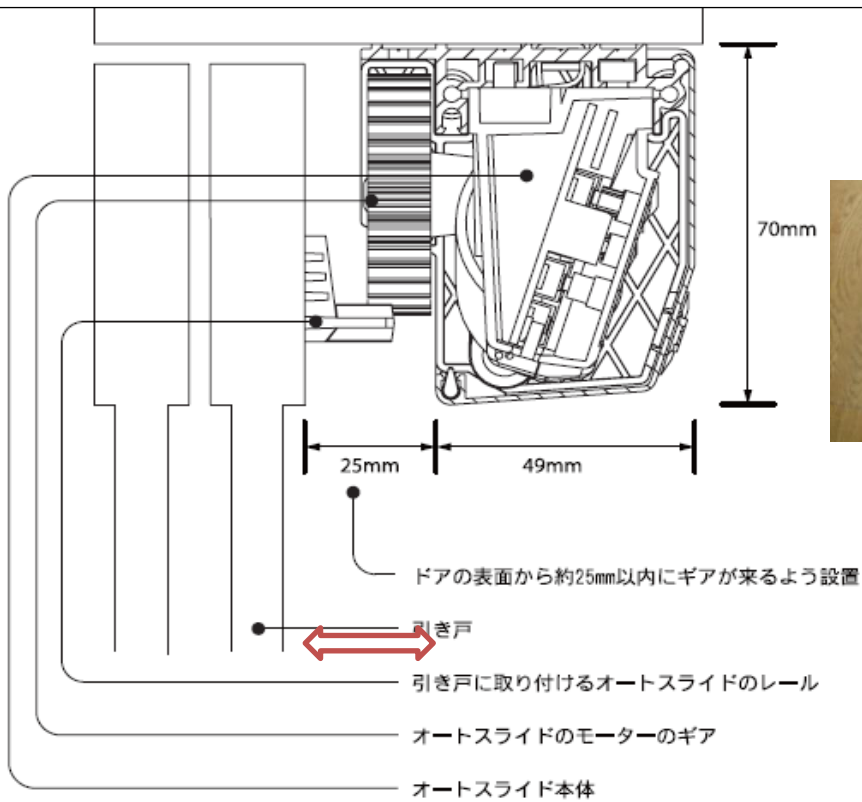
～施工編～

オートスライド(オートスライド・ロック)を施工する

1. 本体をドア上部に設置する。

オートスライド本体はドア上枠(鴨居)にとりつけます。鴨居の奥行は35mm以上必要です。これ以下の場合、お客様で木材などをご用意いただき、鴨居の延長をお願いします。

重要! ドアの表面から、必ず25mm以内にギアがくるように設置してください



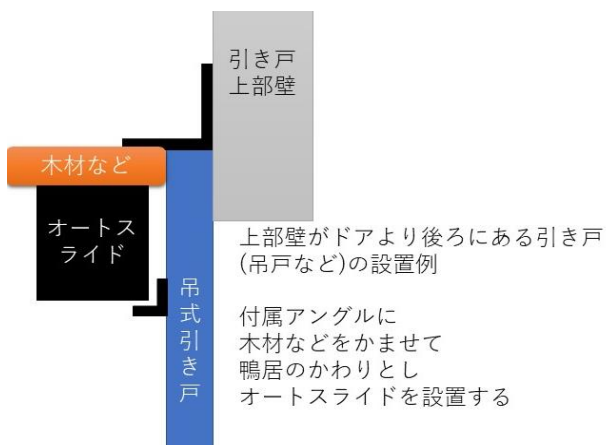
1- 引き戸表面と鴨居の差がほぼ0の場合

付属のLアングルに本体をボルトとナットで固定し、Lアングルをドア上部にビスどめします。アングルにはあらかじめ長穴が空いています。引き戸の装飾や引き戸上部の形状によって、微妙な調整が必要な場合は長穴を延長加工するか、アングルに追加で穴を開けてください。

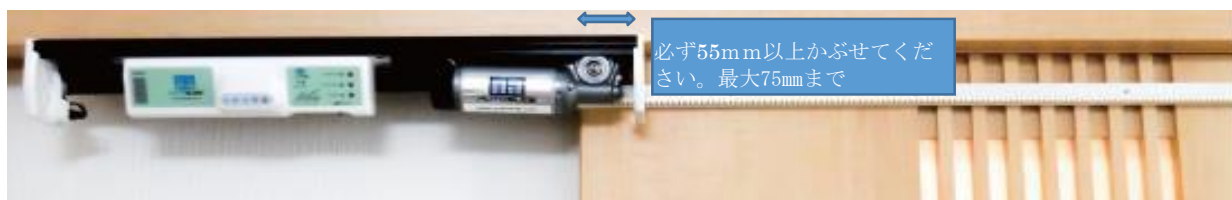


2-b 引き戸表面と鴨居の差がマイナスの場合

付属L字アンクル、木材等を組み合わせ鴨居をつくり、オートスライドを設置してください。



重要: ドアを閉めた状態で、最低55mm以上(ギアがまるごとドアにかかる)、本体をドアにかぶせます。

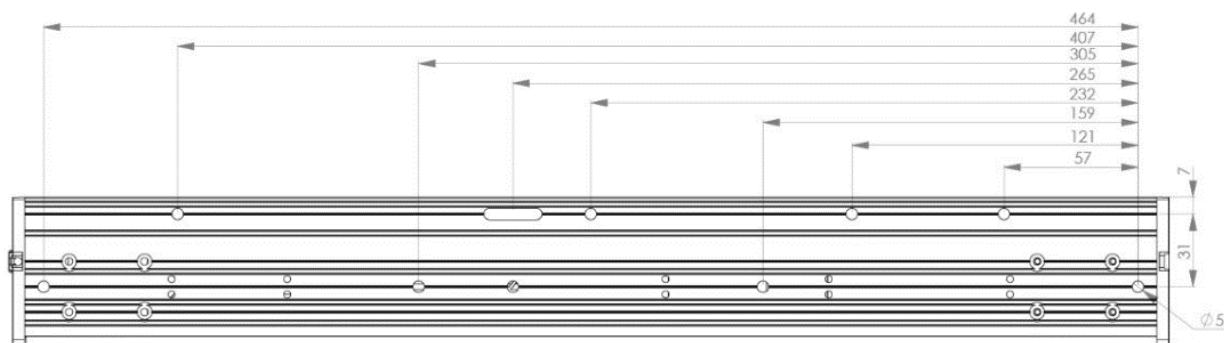


必ず、歯車全体がレールに乗っていることを確認してください。最大75mmまでかぶせられます。

2-2固定・ビス止め

設置位置、方式が決まったら、本体をビス止め、あるいはLアンクルに固定します。

取り付け穴はφ5、計5カ所あります。通常端の3点ないし、中央の左右端2点のいずれかを使用します。





レールを仮置きし、サイドカバーとの干渉をご確認ください。歯車はレールに完全に乗らず、最大1/2乗れば十分です。

3-1.レール施工の準備(切断)



標準同梱されるレール500mm×2本を組み合わせる施工します。1000mm以下の幅の引き戸では、ドア幅にあわせレール端を切断します。レールはアルミ材と糸ノコで簡単に切断可能です。

付属レールキャップは装飾用です。はめると15mm(両端設置は30mm)開閉幅が短くなります。必要に応じて設置してください。

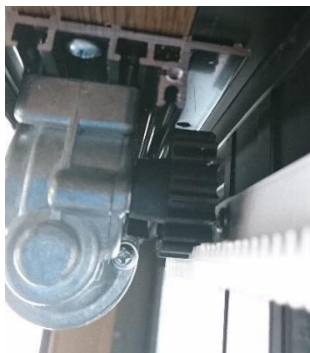
3-2.レールをドアにビスどめする

オートスライド本体のギア(歯車)を基準に、直接レールをあてて、設置位置をきめます。

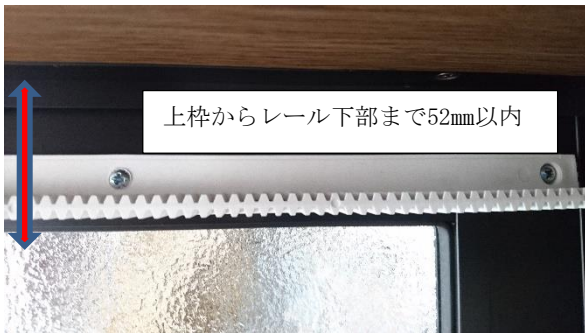
1)レールとギアはしっかり、かなりキツめに食い込むように

2)レールの左右は水平となるように位置決めすること

が大切です。この位置決めで、オートスライドの精度が決まります。レールとギアに嵌合(かんごう)が甘いと、空転や故障の原因となります。必ずレールとギアはしっかり、強めにかみあわせてください。



上枠からレールの下部まで52mm以内としてください。それ以上だとギアが空転してしまいます。レール接合部はビスをとめることで結合します。(付属の接合金具は基本的には使用しません)



切断した側のレールの端にも必ず下穴をあけて、ビスをとめてください。(レールキャップを使用する場合、新規穴あけは不要です)

確認:施工前よりドアが重いか確認してください。重ければ、しっかり噛み合っています。

4.戸当たりを設定する



オートスライドは戸当たりを読み込み、自動で開閉幅を決定します。戸当たりがない、戸当たりがガタつく、ドアそのものがゆがんでいる場合、設定が完了しません。必ず改善してください。

また、任意で開閉幅を決めるときも、戸当たりをつくる必要があります。戸当たりは、硬く、重い木材やビスなどで代用できます。戸当たりは動かないことが大切です。少しでも動くと設定できません。

5.AC100Vアダプターをコンセントに接続



オートスライド左サイドカバーにあるDCコネクタに付属の電源コードを接続し、一方を家庭用の100Vコンセントに接続してください。日常的に入り切りするのであれば、コンセント付近にスイッチをかませることをおすすめいたします。

6 オートスライドの設定



ディップスイッチの方向を必ず確認し、ドアを閉め、オートスライド本体の左にある赤い主電源スイッチをいれてください。ゆっくりとオートスライドが動き出し、自動で設定します。

本体コントロールパネル中央インジケータランプが左から右に順番に点滅し、以下の動作を行います。



- 1) ゆっくりとドアが1往復します。(ドア幅の確認)
- 2) 一度すばやくドアが動き、半分ほどで戻ります。(ドアの重さの確認)
- 3) ドアが停止、一番左のグリーンのランプが点灯して完了です。

上記が完了しない、繰り返す場合は施工に問題がございます。

後記の「トラブル&シューティング(オートスライド本体編)」をご参照ください。

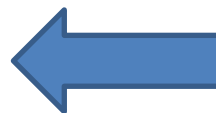
7.開閉テストと開放時間の設定



コントロールパネル右に三つの※じるしのスイッチがあります。一番上のスイッチを押してください。押して、ドアが自動で動き、ふたたび閉じれば設定完了です。

扉全開後の待機時間は、右下のボリューム(Open Time)で調整します。右にまわすと待機時間が長く、左にまわすと短くなります。

オートスライドの電源をいれたまま停止させたいとき(モード変更)



本体中央部の一番右のスイッチをおしてください。押すたびにモード変更いたします

通常は一番ひだりのグリーンの◎が点灯しております。スイッチを押すと、これが右にうつります。

ブルーのときは「全開放」、赤の禁止マークのときは「途中停止」です。

ペットの足マークはペットモードですが、日本版オートスライドでは使用を推奨しておりません。

(ペットモードは、リモコン使用時にペット用の幅のみ30cm~50cmほどあけるモードです。ただ、実用性がないため、日本版では使用を省いております)

※オートスライドロックについて

オートスライドでは閉鎖と同時に電磁鍵がかかります。閉まった状態で鍵がかかるか、手で引いてご確認ください。うまくかからない場合は施工を確認し、初期化してください。初期化については後述いたします。通電がoffとなると、ロックは解除されます。

～トラブル&シューティング(オートスライド本体編)～

重要:オートスライドの設定の初期化と再設定

オートスライドは一度おぼえた幅と重さを記憶します。施工をやりなおした際は、その初期化と再設定が必要です。

オートスライドの初期化(再設定)方法

電源をいれたまま、ディップスイッチ1をゆっくりと往復させます。

例:タイプ1の場合

- 1) 電源をいれた状態で、ディップスイッチ1を現在の設定方向off(手前)からon(奥)へと動かします。
- 2) ドアが逆に動き出したことを確認し、ディップスイッチ1をふたたびoff手前にします。
- 3) ドアがもういちど逆に動きだし、ゆっくりと再設定がはじまります。
- 4) ドアが止まれば初期化、再設定完了です。



※空転するドアなどでは、空転しない位置にドアを動かしてから、電源を入れ、ディップスイッチを動かしてください。

Q1.本体の設定ランプがいつまでも消えず、左→右の順番に点滅している。

施工に問題があり、オートスライドの設定が完了しておりません。

以下の点を確認し、施工を改善し、初期化をおこなってください。

1. レールが水平に施工されているか
2. レールが、両はしまで、均等にしっかりビスどめされているか
(指で押してさがらない、中央部や両端をとくにチェック)
3. 手動でドアを引いたとき、軽くない
(レールとギアがかみ合い、設置以前より、かなり重い(渋い)のが正解です)

4. 本体の樹脂製カバーがレールと干渉していないか
5. 戸当たりがやわらかい、がたついていないか

Q2.大きな音がする。空転する。

オートスライドのレールと歯車がかみ合っておりません。空転がひどいとレールが欠ける場合もございます。歯車とレールがしっかりかみあうように**施工改善したのち、初期化をおこなってください。**

Q3.設定動作中に同じ場所から動かない。同じ場所に戻る。

レールと本体の歯車のかみこみが強すぎます。**施工改善したのち、初期化をおこなってください。**

Q4設定完了したが、ドアが全開したまま、とまる。

開閉方向を決めるディップスイッチ1の設定方向が間違っています。**初期化をおこなったのち、正しい方向へディップスイッチを入れてください。例1)offが正しい場合 on→off→onにしたのち、ふたたびoffに入れる。**

Q5.設定完了したが、ドア開閉速度が速い。

オートスライドはドアの重さに応じて、一定速度で引くようにパワーを制御しております。速すぎる場合はディップスイッチ5をonにしてください。25%落とした速度引きます。

安全上、ドアを閉めるときの速度は変えられません。ご了承ください。

Q6.ドアがレール以上に行こうとして、大きな音がする。

オートスライド動作中に無理やり手動開閉した際、ギアがレールから脱輪したようです。ギアとレールの欠損を確認し、施工位置をみなおして、初期化をおこなってください。

注意

オートスライド駆動中に手動で逆方向に大きな力をかけると、最悪、オートスライドが破損、焼損いたします。この場合、お客様起因の不具合の場合は、有償修理となります。ご了承ください。

Q7. 吊り戸の点検ハッチにL字アングル設置したが、設定が完了しない。挙動が安定しない。

オートスライドのL字アングルは必ず安定したドア枠、鴨井、梁に固定してください。吊戸の点検ハッチは薄いため、ドアを引いたとき、力がうまく伝わられず、誤作動をおこします。また、固定が安定せず、最悪、落下のおそれがございます。お客様でハッチ上部にオートスライドを吊るせるようなL字アングルをご用意ください。

Q8. ドアにゴムがはってある、ドアそのものがゆがんでいて、最後に少し隙間があく。

ディップスイッチの2番をオンにしてください。最後に強く押し付ける動作をいたします。

Q9. ドアの動きがどことなくぎこちない。寒い朝などにうまく動かない。

ドアが経年による変化、季節の温度差などで、オートスライドを設置した当初とドアの負荷に変化があった可能性がございます。異常原因を確認し、改善、初期化し、最新のドア状態をオートスライドに再度読み込ませてください。

Q10. ひらいたとき、ドアが跳ね返る。行ったり来たりしている。

吊戸や新品ドア、温度差などで、設置した時よりも慣性でドアが走りすぎる場合があります。その際、ドアが戸当たりの手前でとまらないため、オートスライドの安全装置が働き、電源を切るまで、行ったり来たりします。再度電源を入れなおしても症状が改善しない場合は、実際に戸当たりより、10cmほど手前に疑似的に戸当たりを作成し、一度ドア幅を学習させたのち、疑似的な戸当たりを除去してください。

Q11. 閉まったときに、はさまれても反転しない。

オートスライドの初期設定が完了しないまま、電源を落とした可能性があります。再度初期化してドアを読み込ませてください。

参考:ディップスイッチ設定表

番号	英語表記	off(てまえ側)	on(奥)
1	Direction/learn	ドアを引く / 往復で初期化	ドアを押す / 往復で初期化
2	Slam Shut	モードオフ	最後にドアを強く閉める
3	Pet learn	モードオフ	ペットモード時の幅を学習
4	N/O or N/O lock		
5	MAX75%open power	モードオフ	通常の75%の出力で駆動
6	N/A		
7	Toggle	モードオフ	押すたびに開く、閉じる(トグル)
8	Beeper	モードオフ	動作中に警告音

～センサー設定編～

オートスライド純正センサーの設定

1. センサーを設定する

日本版オートスライドでは、あらゆるシーンでご使用いただけるように、さまざまなセンサーをご用意しております。快適にご利用いただくためには、センサーの選択がとても重要です。

	ご家庭	店舗入り口	工場(台車)	車いす・介護	ペット
無線タッチスイッチ (標準同梱)	○	△	×	×	×
無線リモコン (キーホルダー型)	○	△	○	○	×
無線マットセンサー (60cm×45cm)	○	○	△	△	○
赤外線センサー (有線ケーブル式)	△	○	△	△	×
超音波センサー (有線ケーブル式)	△	○	○	△	×

・商用、施設でご使用の場合は、タッチスイッチと人感センサー(赤外線センサー・超音波センサー)の併用を強くご推奨いたします。

タッチスイッチのみでは、一定時間後にドアが閉まってしまい、ドアに挟まれる可能性がございます。はさまれても安全装置が働いて怪我をすることはございませんが、人がドアにふれると、場合によっては、オートスライドの初期化が必要となり、また、最悪故障にいたります。ご注意ください。

センサーは大別すると、接触(タッチ、リモコン、マット)式と非接触式(人感式)にわかれます。

接触するタイプはすべて無線式となっており、電池交換が必要です。また、接触する部分が摩耗してくるため、定期的に本体交換が必要です。

すべてのセンサーはオートスライド・ロックでも使用可能です。

センサーを設定する場合は必ず、オートスライドを設定完了させ、一番左の緑色のランプがついた状態にします。カバーは外したままにしてください。

2.各種無線式センサー(タッチスイッチ、リモコン、マットセンサー)を登録する

Wall Mounted
Push Button



V2 Remote
Control



Pet Sensor
Mat



無線式センサーの設定は共通です。

コントロールパネル部のsensor learnスイッチ(※部分)を押してください。赤く点灯し、登録モードとなります。

このときにタッチスイッチ、リモコンの場合はボタン(スイッチ)を押してください。マットセンサーはケーブルを送信機とつなぎ、マットを踏んでください。sensor learnのLEDが 赤く点灯すれば、登録完了です。



タッチスイッチを設置する

裏側が両面テープとなっております。ドアか壁に設置してください。

マットセンサーを設置する

マットセンサーは、マット部と無線ボックス部の二点で1セットです。マット部は床に両面テープなどで貼り付け、上に薄手のフロアマット、カーペットなどを敷いて使用します。

つづいてマット部と無線ボックス部をケーブルにつないでください。無線BOX部裏面には両面テープが付属しています、テープの保護シートをはがし、目立たない場所に設置してください。



各種無線式スイッチの使用上のご注意点

■ タッチスイッチの寿命 ■

電池交換式ですが、スイッチ部が摩耗するため、3～5年で本体を定期交換してください。電池はCR2016式を4枚使用します。

■タッチスイッチの電池交換(新型)■

キバン上部(LED)のあるほうからキバンの下にさしこみ、もちあげてください。壁にとりつけたままで交換できます。キバンの落下にご注意ください。外れづらいときは、少し力をいれてください。



■リモコンの使用法■

横にならぶ二つがタッチスイッチと同じ働きをします。

下の※は、オートスライドのモードスイッチと同じ働きをします。
通常→途中停止→開放→ペット(使用せず)モードをセレクトできます。



■リモコンの電池交換■

電池交換時は裏側のビスを外してください。電池は27A12V用特殊小型電池(海外製)となります。ネット通販でお買い求め頂くか、オートスライドにご連絡ください。

■マットセンサーのご使用注意■

マットセンサーはマットやカーペットの下に敷いてご使用するものです。ただし敷物が厚すぎると反応しなくなりますのでご注意ください。屋外で使用される場合は、水没しないようご注意ください。

■マットセンサーの電池交換■

電池切れ時は無線ボックスを空け、CR2016電池4枚交換してください。出荷時のセクタースイッチは「HUMAN」となっておりますが、何らかの理由で「PET」となっていた場合は、必ず「HUMAN」にもどしてください。



■無線式センサーの一括消去■

コントロールパネル部にあるsensor learnスイッチのLED部分を8秒以上長押しすると、登録済みのすべての無線系スイッチを一括消去して初期化いたします。

人感センサー(赤外線センサー・マイクロウェーブセンサー)

	赤外線タイプ Wired Infra-Red Sensors TWIN PACK	超音波タイプ
長所	安価。最小感知範囲は20cm。	防水仕様で全天候型天候・季節の影響を受けない。低い位置でも感知
短所	非防水。西日・ダウンライト、白い壁は誤作動しやすい。低い位置の感知は苦手	最小感知範囲は50cm。

赤外線センサーは、光(赤外線)に反応します。超音波センサーは超音波を反射して物体の移動を感知します。赤外線センサーは感知範囲をしばると、手かざしセンサーとして使用することが可能です。ここでは赤外線センサーを例に設置方法をご紹介します。

1. センサーをケーブルでオートスライド本体とつなぐ。

オートスライドの設定を完了してから、本体側面カバーに電動ドリルで10mmの穴をあけ、コードを通し、オートスライドのコントロールパネルの**上から一番と二番目のコネクタに接続します**。内と外の区別はございません。また、上から、三番、四番は使用しません。



3. 人感センサーを設置する。

人感センサーには付属のビスがございます。ビスを使って、人感センサーをドア上枠など、使用したい箇所に設置してください。コネクタを後ろから入れる場合、付属のクッションシールを背にはって、センサーを少しもちあげてください。



※赤外線センサーには、もうひとつ、コネクター部がございます。こちらを利用する場合は、上部の切り欠き部をニッパーなどで切ってからご使用ください。



6. センサーの調整

赤外線センサー側面にある電源スイッチをスライドさせます。

(超音波センサーはスイッチそのものがありません)

センサーは感知部分の角度をかえられます。ドアの真下を感知したいときは、角度を0にしてください。

センサーの調整ネジはゆっくりまわしてください。弱からすこずつ強へ感度をあげていくと設定しやすいです。調整ネジは非常にこわれやすいため、付属ドライバーか、眼鏡ドライバーなどをご使用ください。**時計回りで感知範囲アップ、半時計回りでダウンです。**



ドアの裏表に設置時はひとつずつケーブルを入れて設定してください。反対側のセンサーが感知すると、設定できない場合がございます。

ピン参考 (外部機器の出力接点と接続時は黒と黄色のみを接続してください。短絡させることで、起動します)

ピン色	赤	黒	黄色
	12V(6V)	GND	NC

オートスライド・ロック(鍵付き)・テンキー説明書

オートスライドロック(鍵付き)には専用テンキーが付属します。

お客様のご指定した6桁の暗証番号をいれると解錠し、自動でドアが動きます。専用カードを登録することで、カードでの解錠も可能です。テンキーとカードは併用可能です。

1.オートスライドを設置する

オートスライドを設定完了し、待機状態にします。

2.テンキーをケーブルでオートスライド本体とつなぐ。

オートスライド本体コネクタの上から1,2番とテンキーを接続します。



テンキー登録・設定

すべての登録、変更、設定はプログラムモードに入ることで行います。

■プログラムモードへの入り方■

1. # # # # (シャープを4回)押します。
2. 赤ランプが消え、緑ランプがいたら プログラム用パスワード(初期値は1 2 3 4 5 6 #)を押してください。
- 3/ 緑が点滅すれば成功。

(プログラムパスワードは設定専用のパスワードです。入室アクセスパスワードとは別です)

■新規にカードを登録し、自動的にカード番号を割り当てる■

プログラムモードに入り、1を押し、カードをかざします。

無登録のカードの場合、短く「ピ」と鳴ります。

すでに登録しているカードを、かざすと、長く「ピー」となります。

必要なだけ連続してカードを次々とかざしてください。登録後に#を押します。

登録した順番カード番号が0 0 0 1、0 0 0 2、、、、と、割り当てられます。

最後に※を押します。赤いランプ点灯で通常モードにもどります。

■入退室アクセスパスワードの変更（初期値は空白か、テスト用に123456が入っております）■

プログラムモードに入り、6を押します。

“新しいパスワード”#“新しいパスワード”#

※を押して完了です。

プログラムモード→各設定一覧

入力キ	設定内容	登録方法
—		
0	プログラム用パスワードの変更	0を押し、“新しいパスワード”#“新しいパスワード”#の順に入力。
1	カードを連続登録する(番号自動付与)	1を押し、カードをかざし、登録。#で完了します。とくに管理を必要としない場合はこのモードで登録してください。最大6000枚まで登録可能です。
2	カード番号を指定して登録	2を押し、未登録カードをかざします。“未登録カード番号”を入力し、#を入力します。登録済カードでは「ビー」というエラー音がなります。登録カードにNo.を表記するなどして管理するが必要となります。
3	カードを登録削除	3→0を押し、カードをかざす→#、読取ったカードの登録削除。 3→1を押す（カード番号入力）→#入力したカード番号登録削除・ 3→2を押す、9999#、登録済みすべてのカード一括削除。
4	モード(通常はカード&パスワード併用モードとしてください)	4→0を押す。カード&パスワード併用モードに入る 日本版では、カード&パスワード併用モードを推奨しております。 4→2を押すとパスワードのみのモードに入る。
5	開放時間を伸ばす	5→03#で3秒間開放を延長後に閉まります
6	アクセスパスワードの設定、変更、	アクセスパスワードの設定、変更、 6を押し “新しいパスワード”#“新しいパスワード”#（6桁のパスワード）

各モード設定後、※を入力することで通常モード(赤いランプ点灯)となります。

トラブル&シューティング(センサー変)

Q1.タッチセンサーが効かない

LEDが消えている場合は電池切れの可能性がございます。CR2016型コイン電池4枚を交換してください。電池交換の際、まれに本体とのセンサー登録が無効化されてしまう場合がございますため、再登録してください。

注意:タッチスイッチは消耗品です。

電池交換をおこなっても改善しない場合は接触部の摩耗と考えられます。オートスライドのタッチスイッチは家庭用途で5年程度の寿命を想定しております。店舗や施設でご使用の場合は、想定より早く寿命がくる場合もございます。

Q2.有線センサーを設置したが、中央の赤いランプが点灯したままで、ドアが開きっぱなしになる。

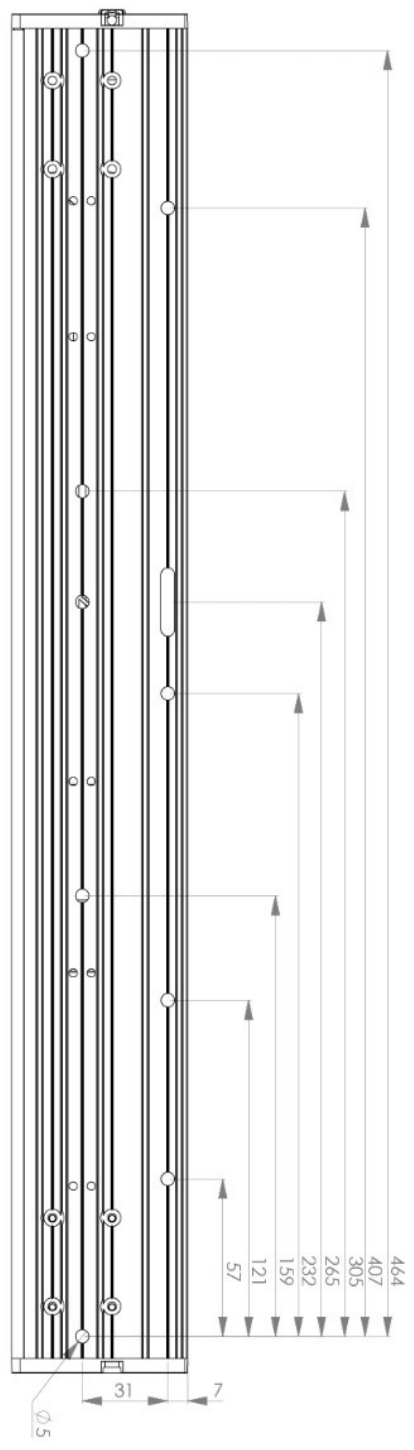
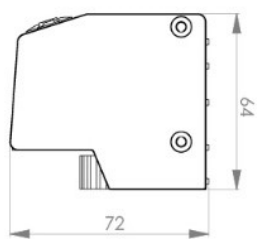
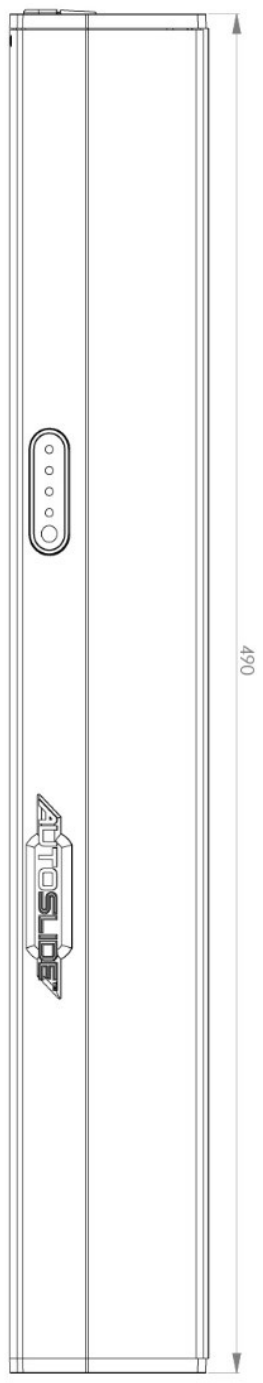
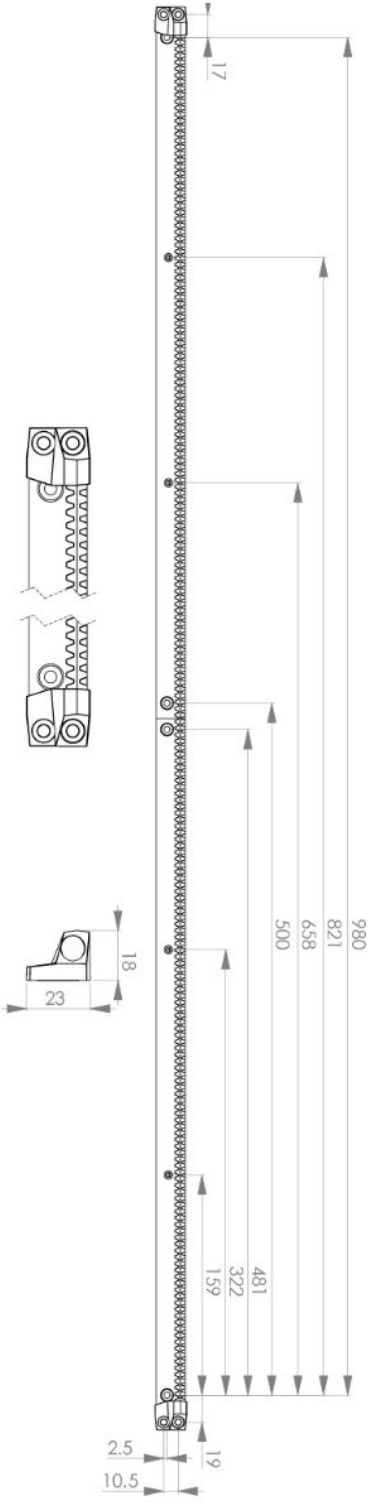
人感センサーの出力が強いか、角度が悪く、なにかに反応しております。センサーの調整が必要です。センサーの黒いカバーを開けて、右側にあるボリュームをマイナスドライバーで反時計まわりにまわして調整してください。

Q3.調整済の赤外線型人感センサーが、ある瞬間だけ、誤作動する。

赤外線式有線センサーは西日や雪の反射、白い壁、床、ダウンライトなどでの誤作動が報告されます。取り付け位置を工夫して誤作動をおこさないようにするか、赤外線式ではない超音波センサーをご使用ください。

Q4.調整済の超音波型人感センサーが、ある瞬間だけ、誤作動する。

超音波センサーは赤外線センサーより誤作動が少ないですが、振動に弱いというデメリットがございます。設置が不安定である。近くに大きな機械があり、作動音がする場合は誤作動をする可能性がございます。



オートスライド 製品保証書

このたびは、私共の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本保証規定は、お買上製品に万一異常が生じた場合、弊社代理店へサポートをお受けいただく際に必要な、保証の内容が規定されております。必ず最後までご一読の上、大切に保管していただきますよう、お願い致します。安全に十分に配慮し、正常な使用状態(マニュアル、本体記載仕様にそった使用)で故障した場合、購入いただいた私共の代理店までご連絡ください。無償修理させていただきます。保証期間は商品がお客様のお手元に届いてから一年間となります。製品はシリアルナンバーにて管理されております。製品シリアルナンバーは本体モータ部に記載されております。

1.保証期間

オートスライドおよびその付属品、オプションの保証期間は、お買い上げ後 1年間です。

2.保証範囲

- 上記保証期間中にオートスライドの製造責任による故障が発生した場合、新品交換ないし故障部分の交換または修理を無償で実施いたします。上記期間外であっても製造責任上による瑕疵が認められた場合は保証対象とさせていただきます。
- 訪問での故障診断は行いません。該当する製品を弊社に送付して頂くことで確認させていただきます。
- 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理(保証対象外)とさせていただきます。
 - 本保証書のご提示がない、本保証書を紛失した場合
 - お客様の施工ミスによる破損・故障
 - お客様による不正な修理や改造に起因する故障
 - 当社製品がお客様の設備・装置と組み込まれて使用された場合、お客様の機器に起因する理由で故障した場合
 - 火災等の不可抗力による外部要因、地震・雷・風水害等の天変地異による故障
 - 当社出荷時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障
 - 船舶や車両、水平垂直レベルの困難な場所に設置した場合
 - お買上後の輸送・施工時の落下、衝撃等による故障および損傷
 - 取付許容範囲外のドア仕様および運用環境による故障および損傷
 - 腐食性ガス・有機溶剤・化学薬品溶液等の雰囲気、およびこれらが付着する可能性のある環境下での使用による製品腐食に起因する故障

3.本製品の施工にともなう建具等への保証責務の除外

本製品の施工に伴い、設置した建具、建築物に不具合、欠損が起きた場合、その責務一切は施工者に起因するものとし、オートスライド販売者は何ら保証責務を負いません。

4.その他の保証責務の除外

期間を問わず、当社の責に帰すことができない事由から生じた障害・事故補償、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失・逸失利益・二次損害・当社製品以外への損傷、およびお客様による交換作業・現地設備の再調整・試運転業務に対する補償については保証責務外とさせていただきます。

本書は、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。

保証期間に故障が発生した場合、本書をご提示の上、弊社代理店あるいは次記までご連絡ください。

製品名	オートスライド
駆動方式	ラック&ピニオン方式
本体色	黒または白
適用ドア寸法※1	～高さ2400mm 幅3000mm～1960mmまで最大延長可能(日本版独自基準として1500mmまで)
設置可能ドア重量	45kg
色	ブラック/ホワイト
防水・防塵機能	IP20相当。防水機能なし
使用環境	0～45℃ 湿度85% 本体内部に結露無きこと。屋内環境で設置推奨
機能※2	自動開閉機能 : センサー・スイッチによる開閉 自動安全装置 : 人や物がはさみ込まれると反転
電源	AC100V～50/60Hz 駆動部24V 3A以下
外形寸法	490mm(L)×70mm(H) ×65mm(w)ラック1000mm
本体重量	1.6Kg

お問い合わせ先:オートスライド・ジャパン(株式会社ファースト・レイズ)
群馬県桐生市川内町3-119-3 電話0277-51-497

(オートスライド輸入販売元)
アースウォーカーレーディング株式会社
大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19階

監修・作成 株式会社ファースト・レイズ